

園長だより「小学校に入学する前に」 第11号

ゆめ組の子ども達は4月になれば小学校に入学します。小学校に入学することでお子さんを取り巻く環境は大きく変化します。お子さんは保育園と違って、自分で歩いて登下校します。ランドセルや手提げに教科書や学習用具、体操服などを入れて、自分の手で持って登下校します。これだけでも保育園の時とは大きな違いですね。他にも「チャイムの合図があること」「椅子に45分間座っていること」「給食は自分たちで運んで配膳すること」「お掃除の時間があること」「宿題があること」など、数えきれません。

皆さんは「小1プロブレム」という言葉をご存じですか。環境が大きく変わったことで子どもたちが学校に馴染めず、混乱している状況のことを指す言葉です。例えば・・・。

- ・授業中、勝手に教室の中を立ち歩く。あるいは教室から出ていく。
- ・先生の指示通りに行動しない。
- ・休み時間が終わっても教室に戻ってこない。
- ・私語が止まず、常にザワザワしている。
- ・けんかやトラブルが日常的に起きている。

個人差はありますが、小学校への入学で多かれ少なかれ子どもたちの中に何がしかの混乱が生じるのは仕方ありません。でも、1ヶ月ほど過ぎたGWの頃になると教室は少しずつ落ち着き始めます。子ども達が環境に順応し始めたということです。ただ、お子さんの中にはうまく順応することができず、混乱が1学期の終わる頃まで続いたり、順応できないまま1年生を終えたりするお子さんもおられます。城東ちどり保育園では「保育園と小学校の接続」という視点で、お子さんが少しでも早く小学校入学後の環境変化に順応できるように保育・教育を進めています。

その一つが「良い姿勢で椅子に座る」ということです。これは小学校の学びの基礎基本の一つです。良い姿勢で座るといい文字を書くことができます。そして何よりも良い姿勢で座るとお子さんの集中力が高まります。

私は小学校に勤めている頃、見える学力・見えない学力を向上させるために「〇〇小学校 学びの基礎基本」というものを作り、先生方に全学年で徹底して指導して頂くようお願いしていました。その中の一つが「良い姿勢で椅子に座る」でした。

お子さんはお家ではどうでしょう。私の子どもの頃は畳に座って晩御飯を食べていましたが、今は椅子に座って食べるお家が多くなったように思います。テレビを見る時はともかく、ご飯を食べる時はお子さんに「良い姿勢で椅子に座る」ということを意識させてみてはどうでしょうか。もちろん、お子さんが小学校に入学すれば担任の先生が椅子の正しい座り方を指導します。そこをスタートとするのか、それともすでに「ゆめ組」の時から身に付けているとするのか。これだけでもお子さんの環境変化に対する適応力に違いが出てきます。少しでも早く環境の変化に適応し、楽しく充実した小学校生活を送れるように、今からお子さんにアプローチしていくことが大切だと考えています。